



森のなかま

2017年9月号

NO. 113 (継続258号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

9

第2回ブラッシュアップ研修会 (公財)かながわトラストみどり財団主催

『安全な林業機械の操作方法について』

講師:株式会社やまびこ サービス推進本部 目時様、遠山様

平成28年7月2日(土)9:00~15:00 場所:南足柄市内山県立21世紀の森エリア

<記 焼尾 徹 13期>

(写真提供:財団 内田様)

(公財)かながわトラストみどり財団:内田様 他

参加者: (デモ:デモンストレーション講師兼務)

デモ)松永⑪、デモ)石川⑫、デモ)江上⑬、友谷①、国分③、滝澤⑤、大道⑥、山崎實⑦、有坂⑧、三浦⑧、飯澤⑨、水津⑨、福島⑨、水口⑨、辻村⑨、湯浅⑪、徳岡⑪、柴⑪、大橋⑪、佐藤義和⑪、真貝⑪、澤村⑫、宮下 啓一⑫、山崎博⑫、焼尾⑬、前田弘美⑬、宇田川⑬、野村昭憲⑭、鈴木 淳⑭、立花⑭、水野⑭ 31名

午前中の研修では、森林部会の(松永/石川/江上)氏によるチェーンソーを扱った間伐作業のデモンストレーションを皆で見学した。あえて、楔(くさび)を使った伐倒及び、わざと掛かり木となる方向への伐倒とし、フェリングレバーを使用して木を回すことで伐倒することもデモとしていただいた。

ロープの終端を一次的に結ぶ方法(ロープを痛めない)、追い口を正確に切ることでいかに安全であるかを確認、安全にフェリングレバーを使う立ち位置、などを活発な議論の下で確認した。



デモンストレーション後に、やまびこサービス推進本部からお越しいただいた目時様より講評をいただき、フェリングレバーは引くのではなく押して使うこと、回す際に残すツルは回転する内側のツルであること(真ん中を残すのではない)、普段我々が目にする10mmφの綿ロープは基本1トンまでの強度なので、大人5人を超える人数の力で引っ張るのはリスクがあることなどをご指導いただき、普段の活動だけでは得られない知見を的確にご指導いただいた。



間伐デモ(ロープ掛)



間伐デモ(伐倒中)

午後は、目時様、遠山様より講義をいただいた。林災防にて統計しているデータに基づき、林業で多い事故の傾向とその要因について解説いただく。死亡事故の6割が伐倒作業中、さらにその中の多くが掛かり木処理に伴うものである。つまり、受け口が正確でなかったか、掛かり木の処理方法が適切でなかったことを示している。ボランティア活動における受け口作りにおいても、どうしてもノコギリもしくはチェーンソーガイドバーが、前下がりのなりがちであること、そのため、伐倒者側に倒れやすいことを理解した。また、追い口の高さが受け口の水平面の2/3の高さというのも、伐倒木の上部側が裂けないようにするためであるというロジカルな理由も丁寧に解説いただいた。ここ数年は、熱中症による事故也多発しており、休憩、塩分、水分取得の重要性を改めて解説いただき、各インストラクターもその重要性を認識した。

安全な手法の技術だけでなくその理由を明確にした、有益な研修となった。



講義風景



「表丹沢県民の森」

～表丹沢の山懐を歩こう～

10月22日(日)

丹沢大山自然再生委員会と共催
森林インストラクターがご案内

集 合：小田急線・新松田駅/JR 御殿場・松田駅南口 改札前 8時40分

コ ー ス：新松田駅→(バス実費)→寄バス停 → 三廻郎林道出合 →

表丹沢県民の森 → 西山林道 → 大倉バス停

(解散予定15時30分) 歩行距離約8km

募 集：80名 10月15日(日)締め切り

参加費：1,000円

持 ち 物：昼食、飲み物、雨具など必要と思われるもの

服 装：ハイキングが出来る程度(長袖、長ズボン、帽子)

防水性のある履き慣れた靴

申し込み：往復はがきに、森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、

〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4

かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会 内野ミドリまで



8月5日(土)に開催された水源林のつどいは10号掲載となります



ヒアリ情報 「 **ヒアリ（火蟻）に注意** 」

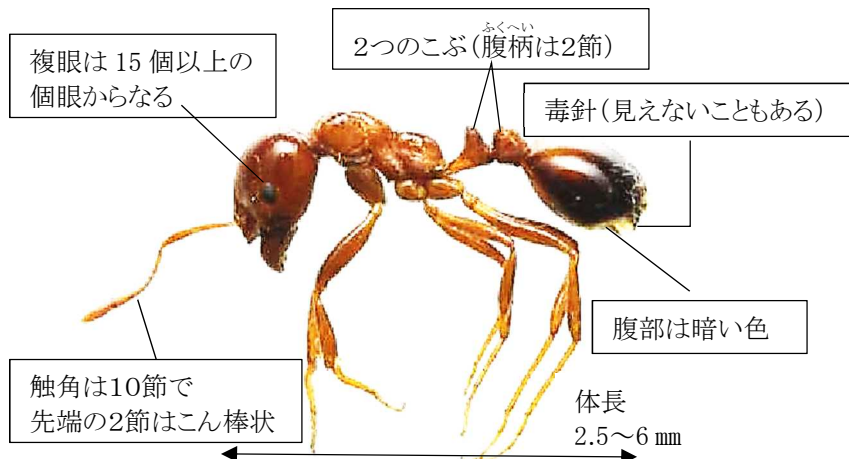
引用、参考資料:環境省(2017.7)、東京都環境局の其々のホームページより

<資料等まとめ:広報部>

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、茨城、東京、神奈川、愛知、兵庫、大阪で見つかっています(平成29年7月18日現在)。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。

(参考:アリは1億2500万年前、スズメバチ(Vespidae)の祖先から分化したと推定されている)

体は赤茶色っぽくツヤツヤしている



葉の上のヒアリ



ドーム状のアリ塚(高さ数十cm)

= 特徴

- ・体長は2.5mm~ 6.0mmほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

= 見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・赤っぽくツヤツヤしている。腹部(おしり)の色は暗め
- ・働きアリの大きさは2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。

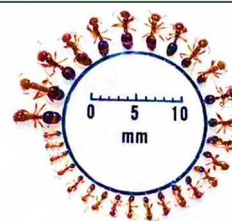
→ 違う種類: 黒いアリ、2.5mm以下の小さなアリ、6.0mm以上の大きなアリ

= 怪しいアリがいたら！！

ヒアリに似たアリの集団がいた場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ(270種以上)がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

様々の大きさがいる



= もしも、ヒアリに刺されたら

- ・ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。
かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状(呼吸困難、血圧低下、意識障害)を引き起こす可能性もあります。
- ・異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

活動短信

今回の掲載は平成29年6/28～7/22です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラストより



菖蒲華 6/26～7/1頃

あやめはなさく
あやめの花が咲く
第二十九候 夏至 次候

桐始結花 7/23～7/27頃

きりはじめてはなをむすぶ
桐の実がなり始める
第三十四候 大暑 初候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)
場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者 人数
県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研 研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)
**活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。*

◆ 県民参加の森づくり 竹林整備

日 6月28日(水)8:30～13:30、小雨後曇り
場 中井町比奈窪(中井中央公園)
参 参加者 45名 大人(男37名、女8名)
財 豊丸課長、鳥海様 看 小林様
イ L 江上⑬、佐藤①、杉戸⑥、宮本⑥、小野⑦、
野牛⑧、齋藤⑧、村井⑨、小笠原⑩、橋本⑩、
福島⑪、西出⑫、星野⑬、小貝⑭、手島⑭、鳥海⑭
安全パトロール 滝澤⑤、辻村⑨

中井町運動公園野球場前に小雨にも拘らず45名の参加者が集まりました。財団は空模様を見ながら1時間程度の作業を行い、様子を見て作業を進める案内をしました。現場はマダケの竹林で、盛り後半のタケノコを片付けていると1時間程度は経ちそうだなと思いながら5班に分かれて現場に向かいました。

1～3班は竹林整備に加え草刈りを行いました。雨具を着ての作業は、汗をかきながら1時間頑張ろうといった雰

囲気も漂いながらの作業です。1時間経たないうちに雨はほぼ上がり、作業時間延長となりました。1～3班の草刈りは作業予定区域全体を行う形となり、タケノコや竹は4～5班とともきれいに片付けられ整備されました。

時間延長によりインストラクターと参加者に多少の戸惑いもあったようですが、タケノコは手にもてないほどの収穫で、雨はほぼ上がり事故もなく参加者にはお土産つきの竹林整備活動となりました。

(記 江上 徹 ⑬)

◆ 横浜市立桜岡小学校 間伐体験活動

日 7月2日(日)10:00～13:30、曇り/晴れ
場 相模原市緑区 長竹承継分収林
参 小学5年生113名 教師等10名 計123名
財 古舘様
イ L 久保⑧、足立④、斉藤⑥、伊藤⑦、小沢⑨、松山⑩、
松本⑪、小野⑨、富樫⑥、小松⑭、牧石⑭、木村⑭
曇りから晴れに変わり30度越える蒸し暑い天気になり熱中症にも気を遣う陽気となる。

インストラクターは9:40より愛川ふれあい村駐車場に集まり作業手順の確認と今日の安全作業の目標を決め生徒を待つ。10:00にバスが到着、広場でインストラクターの紹介をして間伐現場の長竹承継分収林へ。各班10名前後で分かれ予定の1本の伐倒に入る。間伐の意義と手順の説明を終え作業に入る。それぞれの場所で生徒のロープを引く掛け声と伐倒した時の歓声が聞こえていた。

コースター作りも1枚作り、昼食を食べた後もう一枚作りたいとの希望でみんな夢中で切っていた、13:00までに山を下り道具の手入れをした後、財団担当者とインストラクターに対し礼儀正しく感謝の挨拶があった。何人かヤマビルの被害にあったものの事故やヒヤリハットも無く無事活動を終了した。

(記 木村 勇 ⑭)

◆ 生長の家 森林ボランティア

日 7月3日(日)、晴れ
場 真鶴町 岩
参 生長の家青年会神奈川教区 25名
財 鳥海様
イ L 上田⑩、柏倉④、小清水⑤、安部⑤、齋藤⑧

さつきの里公園に到着後昼食をとり、引き続いて作業前の打ち合わせと安全についてのミーティングを行った。

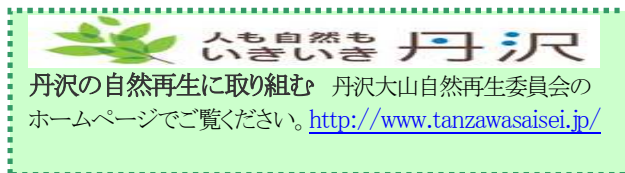
12:50から開会式と準備体操をし、各班に分かれて現

場に向かった。現場入り口まで約10分、班毎に森の話や、路傍の植物の話をしながら移動した。入り口前で間伐道具を受け取り、装着状況を確認後現場に入った。現場は15m程度のヒノキ林で傾斜は緩やかで作業環境としては特に問題はなかった。十分に間隔を取り各班の作業位置を決め、間伐方法などの具体的なことを説明したのち間伐にとりかかった。

各班ともヒノキ1本を伐採した。(2班は2本伐採)処理に困るような掛り木もなく時間内に事故もなく片付けまで完了した。少しの時間でしたがコースターづくりをしたグループもあり充実した時間を持つことができました。

ベテランから少年までそれぞれに、森林整備活動を楽しんでおられました。道具の清掃整理も丁寧にいただき、欠品もなく返納することができました。駐車場に帰って記念写真を撮り解散しました。

(記 上田 啓二 ⑩)



◆ 横浜市立緑小学校 間伐体験

- 日 7月6日(木) 10:00～15:00、晴れ一時曇り
 場 相模原市緑区長竹承継分収林
 参 小学5年生 131名 教師等13名 計144名
 財 古館様
 イ L 松本⑪、伊藤⑦、小野⑦、有坂⑧、内野⑨、高橋⑨、村井⑨、松山⑩、松永⑪、西出⑫、園田⑬、松石⑬、小松⑭、立石⑭、牧石⑭

児童・教師等を乗せた4台のバスは、予定通り愛川ふれあいの村第一駐車場に到着。荷物を集会室に置き、芝広場に集合。10:50から児童の司会で始まりの会、担当教師から注意事項の後、インストラクターの紹介。児童から「安全に楽しく活動します」と力強い宣言。全員がバスに乗り込み長竹に向け出発した。

長竹着11:20。1班から順次ヘルメット、枝打ちノコギリ装着。必要な機材を持ち、間伐現場に11:30到着。森林の周囲を眺めながら、なぜ間伐をするのか、その必要性等を説明。間伐木の選定、安全に倒す方法の説明を行い、間伐作業に入る。間伐ノコギリを初めて持つ児童に技術指導しながら各班1本の木を倒し、枝を落とし、玉切りをして昼食。約20～30分の昼食・休憩をし、各自1個のコー

スターを作って間伐体験終了。

午後2:30下山、装着道具等掃除返却、片付けた上、同2:40バス乗車。愛川ふれあいの森駐車場に2:50到着して解散する。

山を降りる時に、間伐の効果を見ようとしたが太陽が顔を隠し日照具合の確認が出来なく残念でした。

台風一過、好天に恵まれみどり濃い森林の中での間伐体験でした。

全児童、指導教師も含め、気温30℃近い暑い中での作業で体調不良、ヒヤリハット、ヒル被害等、ケガ無く終えたことで満足感も得られた。



初めての体験で「楽しかった」と参加児童からの声があった、一方、インストラクターからは、ノコギリを一度も使った事のない児童が大半で、受け口、追い口を切るのに、技術的にも時間が掛かった。また、コースターづくりも同様です。もう少し時間が欲しいとの声多数。

(記 伊藤 恭造 ⑦)

◆ 川崎市立野川小学校～社会科見学(水はどこから)

- 日 7月7日(金) 10:00～12:00、曇り
 場 やどりき水源林
 参 小学4年生135名 教師8名
 イ L 足立④、宮本④、佐藤⑤、白畑⑦、小野⑦、渡部⑦、内野⑨、高橋⑨、村井⑨、江頭⑬、大原⑬、古舘⑬、松石⑬

やどりき水源林ゲート前でバスを降りた生徒たちが予定通り10:00に広場に入ってきた。

生徒代表の挨拶、インストラクター紹介の後に、足立リーダーが本日のテーマである「水はどこから」を分かりやすいイラストを使って説明した。

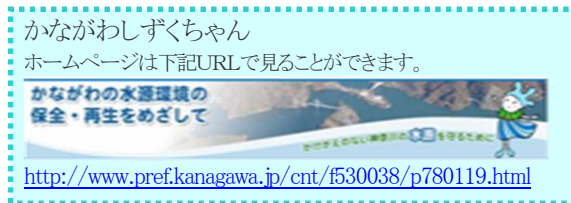
いよいよ本番の森林探訪。生徒たちは、aコース(周遊歩道AからH22～24年成長の森コース)に4班、bコース(周遊歩道Bコース)に4班、cコース(林道～高梨の森～堰堤コース)に5班と分かれて出発した。aコースの子供達は崖から滴り落ちる一滴一滴が沢となり川となることを学習し、bコースでは生い茂った森林が緑のダムとなっていることを実感し、cコースでは川辺で手を浸して水の恵みに感動して、再び広場に戻ってきた。出発した時に比べ

て、どの子の眼もきらきらと輝いているのが印象に残った。

この時期のやどりき水源林では仕方ないことだが、ヤマビルが多く出没して、多くの生徒を悩ませていた。数人の生徒がヤマビルにかまれたが、それ以外には事故もなく、広場での昼食の後に、ゲート前に待機していたバスに戻って行った。

12:30、これから山北町の三保ダムに向かうという。

(記 古舘 信生 ⑬)



◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

かながわトラストみどり財団・相模原市まち・みどり公社共催

日 7月8日(土)8:30～15:00、晴れ

場 相模原市緑区鳥屋

参 36 名

イ L松永⑪、大塚⑪、湯浅⑪、山口⑪、大橋⑪、石川⑫、水野⑭、小林⑭、波多野⑨ 研 野村⑭

朝から好天に恵まれたものの、日中は真夏日となり下刈り作業には厳しい環境であった。インストラクター10名(研修生含む)は、7:50に本厚木駅に集合しミーティングを行い、本日の活動について注意事項確認及び現場状況の共有を図った。その後参加者の受付を済ませマイクロバス3台で現地へ向かった。

鳥居原園地へ到着後にインストラクターの紹介・準備体操を行った後、4班に分かれて現場へ向かった。

今日来られたメンバーは概ね5割が経験者であった。現場到着後、班毎にヘルメット・大鎌の貸し出し及び作業説明を行い作業開始。日中の気温はグングン上がったため休憩は各班判断でこまめに取った。

休憩時は木陰に入って日光を避けたのだが、そこにはヒルが潜んでおりヒル被害が発生した。

作業自体は順調に捗り予定時刻通りに終了、道具手入れを行った後に鳥居原園地にて昼食を取りながら班毎に本日の作業についての意見交換をし、交流を図った。

午後は県立やまなみセンターへ移動。ボランティア発表会に参加し、相模原市の東若会、神奈川県山岳連盟の発表を拝聴した。その後マイクロバスにて本厚木駅に向かい、参加者は解散。

インストラクターは反省会を行った後に解散となった。

反省会では事故報告はなかったが、ヒル被害6名、ハチ刺され1名、低血圧症1名の報告があった。

(記 波多野 慶 ⑨)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

日 7月15日(土)8:30～13:30、晴れ 猛暑

場 小田原市久野(市有林)

参 一般 38名(男 32名 女 6名)

財 鳥海様 内田様 看 青木様

スタッフ 小田原市 伊藤様

イ L水津⑨、佐藤①、水口⑨、江上⑬、大原⑬

長尾⑬、岩田⑭、黒川⑭、小貝⑭

8時30分、小田原駅西口早雲像広場に集合、バス3台

で出発し、9:00から、辻村植物園内の広場でオリエンテーショ

ンを行った後、道具を配布、現場に移動して作業を開始しまし

た。30℃を超える猛暑の中、熱中症対策を第一に、参加者の皆さんにはこまめな水分補給・休憩を心掛けながら、1年で背丈を超える高さまで育った草を刈って頂きました。

現場は、3～5年前に広葉樹が植栽され、昨年補植した木も混ざっているところでした。生い茂る草でそれらの木々がほとんど見えない程でしたが、下刈後は見事に草が刈られて、木々が見える素晴らしい風景に変わり、参加者の皆さんは、その成果に十分満足された様子でした。



作業前



作業後

(記 黒川 敏史 ⑭)

◆ 県民センターでのPRイベント

日 7月4日(火)～19日(水)の間の平日6日間

場 横浜市鶴屋町 かながわ県民センター1F

参 191名

イ 森本⑤、渡辺③、草野⑧、高橋⑩、福島⑪、大原⑬ による交代制で、各日2名態勢 他 しずくちゃんの演出延べ4日間。

昨年の11月に続いて2回目となる「かながわ水源の森林づくり」PRイベント。集客策として今回の工作教室では、ロケットラワンとシュロバッタ

を採り上げた。結果、ロケットラワンは屋内での運用としたこともあり不発で、場所柄、難しい出店場所ではあるが、悔しい思いが残った。新規メニューの開拓が、喫緊の課題。

(記 森本 正信 ⑤)

◆ 神奈川県水道記念館 水源林保全体験

- 日 7月21日(金)10:00~14:30、晴れ
場 南足柄市内山 県立21世紀の森、マダケノ展示林
参 一般参加者30名(大人14名、子供16名)
スタッフ 水道記念館5名 看 1名
イ L 西出⑫、高橋③、柏倉④、白畑⑦



水道記念館様が小中学生とその保護者を対象に参加者を募集して、竹林での除伐体験や間伐材を利用したクラフト工作(今回は箸作り)を通じて、水資源に関わりの深い森林保全に対する関心を深めてもらうため、毎年実施されている行事で、今回は30名の方が参加しました。

午前中は4班に分かれて、約1時間の竹林整備を行いました。時々休憩を取って水分補給をし熱中症に気を付けながら、親子で竹林の整備に汗を流しました。子供たちの中には、インストラクターに水鉄砲や竹笛の作り方を教わって、そちらに夢中になる子もいました。作業終了後に、整備して明るくなった竹林を眺めて達成感に浸りました。

午後は、ヒノキの間伐材を利用した箸作りに挑戦です。

①用意された材料を鉋(かん)で削って先端に向けて細くします、②ペーパーで先端部を丸くします、③全体を硬い木に擦り付けてなじませます、④電気ペンで名前などを書きます、⑤全体に食用油を塗って完成です。

皆さん、思い思いのマイ箸と楽しい思い出をお土産に大きな怪我もなく全員帰路につかれました。

(記 西出 健一 ⑫)

◆ 神奈川県法人会連合会 社会貢献活動 下草刈り

- 日 7月22日(土)10:00~13:00、曇り時々晴れ
場 南足柄市内山 21世紀の森の成長の森エリア
参 総勢368名 スタッフ、県、インストラクター含む
スタッフ:事務局金森局長/平山主任/石川様/他2名
県 増子様 他道具係2名 看 青木様
イ L 松本⑪、小野⑦、齊藤⑧、内野⑨、水口⑨、
村井⑨、大塚⑪、赤崎⑫、東⑫、石川⑫、

西出⑫、内田⑬、大原⑬、武井⑬、小松⑭、
立花⑭、牧石⑭、木村⑭、

神奈川県内の18法人会(一般市民含む)とスタッフ及びインストラクター18名を含む総勢368名と大人数である。各所からそれぞれの交通手段で県立21世紀の森の駐車場広場に集合。

10時30分から開会式、主催者の挨拶に続き作業内容・注意事項等説明、ストレッチ体操後、各班にインストラクター1名が付きヘルメット、大鎌を参加者に渡し出発。駐車場広場より少し登り成長の森に、通路下(無花粉杉植栽地)6法人会、通路上(平成29年、30年度植栽予定地)12法人会に分かれ草刈作業を行った。

背丈ほどの草が生い茂るところも有り奥へ入るのが大変だったが多くの人が経験者で、草を刈りながら足場を作り奥へ奥へと入り、おおむね横一線になり途中水分補給、休憩を取りながら斜面上へと草を刈っていった。

作業終了後、参加者達は綺麗になった作業地をふり返り達成感にひたり満足顔だった。

熱中症や怪我は無かったがハチの被害が一件あり早期手当てにより大事に至らなかった。駐車場広場に戻り大鎌の手入れ・返却、終礼後、参加者の皆様はそれぞれに散会していった。

(記 武井 直人 ⑬)



350名超の大活動

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
10月号になります。

森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林ミニガイド

8月のトピックス

少し秋の気配、植物も青い実の準備

サルナシ

ミツバアケビ



(8/20 松本撮影) (場所は秘密)

9月の水源林

残暑もやどりき水源林に来て、綺麗な川での川遊びや滝郷の滝で猛暑を吹き飛ばしましょう。

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadoriki27.html> E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

あしがらの里 足柄峠まつり



9月10日(日) 10:30～15:15

足柄城址・聖天堂(足柄峠付近)

南足柄市観光協会 TEL: 0465-74-2111

http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kankou/matsuri/hue_maturi.html

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★8月の長雨の影響で、我が家の家庭菜園も不作ですが、トマトと茄子はなんとか実をつけています。

週末は、漬物や料理にいろいろと活用します。今度は何をつくらうか楽しみです。

(大塚)

★夏休みが終わってしまった…働きたくないけど、今日からまた、猫の鯉節代を稼ごうつもりで頑張ります…

(赤崎)

★14期のフィールドとして里山景観保護のお手伝いしている大雄山の花咲里山で、猪柵の設置をしてきました。

今年は山に食べ物が少ないのか、イノシシ被害が多いそうです。

(黒川)

★今年の夏も気候がおかしい感じです。でもこの気候に直ぐに順応しそうで…

(吉田)

★今年の花火大会は雷雨等の荒天が多く見に行くのをためらい行きませんでした。秋田の大曲の花火が地元の皆さんの努力で実行されました。家の電気を全部消してテレビで見学しました。素晴らしかった!!

地元の皆さんありがとうございました。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島 正治

広報部: 大塚晴子 赤崎さほり

小川和恵 藺田栄哉

黒川敏史 吉田郁夫

支援 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

特別企画「やどりきの森へ行こう!!」

要・申込

2017年 10/21(土)

家族で森のお手入れ
体験参加者募集

【定員】10家族(先着順)

【申込締切】10月7日(土)

【集合】小田急線 新松田駅北口に午前8時40分

※新松田駅～やどりき水源林ゲート間は路線バス延長利用

(片道: 620円各自負担)

【内容については】財団ウェブサイトへ

【申込】NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604 ☎ k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

●希望するイベント日時、参加者全員の氏名、住所、電話番号を明記して往復はがきまたはEメールにてお申し込みください。

「成長の森」でお子様と一緒に間伐体験★間伐材でお土産づくりもできます。